

12

Autobody Repair 自動車板金



ハンマが生み出す、躍動する自動車ボディの曲線美

自動車メーカーが新型モデルを開発する際、試作車を作る必要があります。新しいパーツはすべて一から設計し、形にしていける必要があります。競技では、鋼板をハンマや金切ハサミで加工し、繰り返し測定しながら目的の形状に近づけます。成形限界に近い加工や、割れを防ぐ技術が求められ、さらに溶接による熱ひずみによる変形を抑える技能も必要です。この作業には、繊細さと力強さが重要です。

競技について 競技時間：1日／7時間

競技では、指定された図面に基づいた寸法や形状の正確さ、そして表面の仕上げの美しさを競い合います。914mm×914mmの平らな鋼板を使用し、手工具などを用いて複数の部品を立体的に成形し、溶接して組み立てていきます。

競技職種と生活との関わり

私たちの生活に欠かせない自動車。ディーラーで並ぶ魅力的な車に目を奪われますが、もし事故で修理が必要になったらどうするでしょうか？新型車両の修理方法を考え、実施するのは、高度な技能を持つ職人たちです。衝突による損傷は一つひとつ異なり、修理には複雑な工程が必要です。自動車メーカーは厳しい仕様に基づき、安全基準を満たす修理方法をディーラーに提供します。こうした技能のおかげで、私たちは安心して車を利用できるのです。競技職種で培われる技術は、私たちの生活の安全と快適さを支えています。



<2023年大会 競技課題>

平面と曲面が織りなす、 ダイナミックな立体構造を実現！

当日公開される寸法に対応するため、選手たちは自ら課題を乗り越えなければなりません。長く複雑な溶接継手加わり、製品に熱ひずみが生じるため、加工、溶接、修正、再加工を何度も繰り返す必要が出てきます。複数の部品が組み合わさり、平面と大小の曲面が立体へと変貌を遂げるこのプロセスでは、ねじれを防ぐための精密な仕上げが欠かせません。選手たちは、常に変化する要件に適応し、最も効率的な方法を見つけ出すことが求められています。問題が発生した時には、自ら解決策を見つけ、製品の精度と品質を維持しながら、最後まで完成させる責任があるのです。

大川 正洋 主査 職業能力開発総合大学校



日本で一番を狙っているのは、とても大変で苦しいことだと思うんですけど、頂点からしか見えない景色がありますので、そこを目指して頑張ってほしいです！

前大会 金メダリスト！

小石 高陽さん
トヨタ自動車(株)

